

# 上士幌町強靱化計画概要

## 1 計画策定の趣旨、位置付け

### (1) 上士幌町強靱化の背景・必要性

- ① 東日本大震災の教訓を生かし、南海トラフ地震・首都直下地震等の大規模自然災害に備える  
⇒ 国は国土強靱化基本法を制定し、それに基づく国土強靱化基本計画を策定

#### 国土強靱化とは

大規模自然災害の備えとして、災害により致命的な被害を追わない「強さ」と、速やかに回復する「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築を推進するもの

#### 基本目標

- ① 人命の保護が最大限図られること
- ② 国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- ③ 国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- ④ 迅速な復旧復興

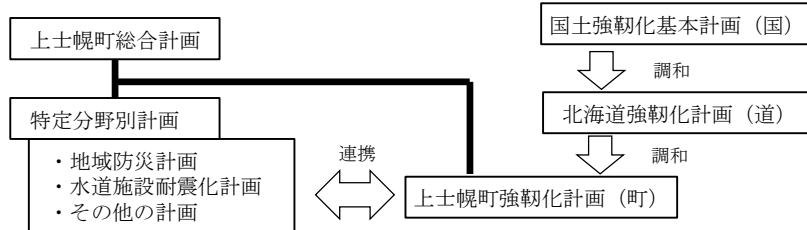
#### 取組方針

ハード施策とソフト施策の適切な組合せ

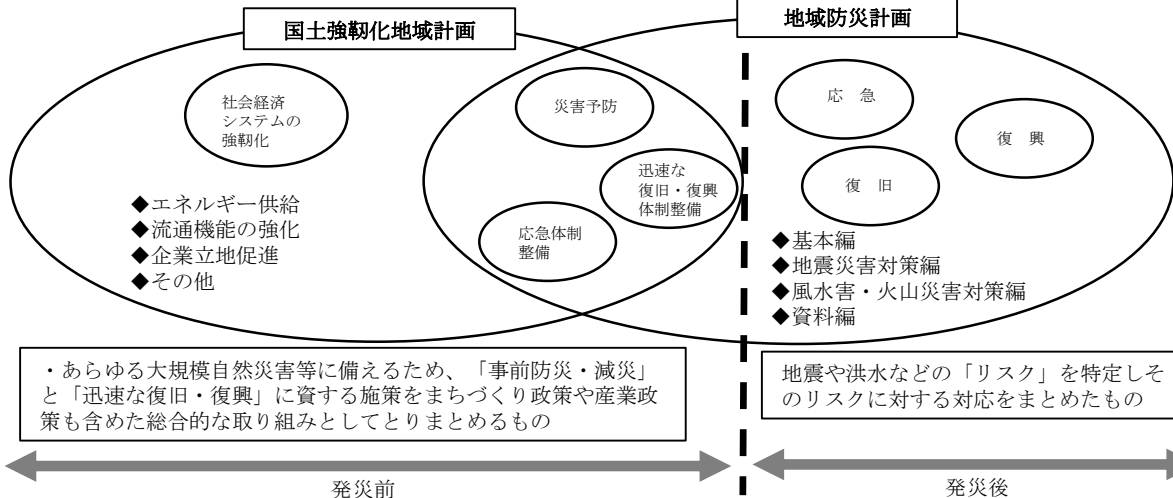
- ② 国土強靱化基本計画を受け、北海道は地震や豪雨・豪雪などの自然災害リスクに対する取組みを進め、北海道の強靱化を図るための「北海道強靱化計画」を策定
- ③ 上士幌町としても、人口減少、急速な少子高齢化の進行、公共施設等の老朽化、防災力の強化といった課題を抱える中、「上士幌町総合計画」に掲げる災害に強いまちづくりの構築のため、北海道強靱化計画と調和した「上士幌町強靱化計画」を策定する。

### (2) 計画の位置付け

- ・ 北海道強靱化計画と上士幌町における特定分野別計画との連携、調和を図る。



### (3) 地域防災計画との役割分担



## 2 上士幌町強靱化計画の目標

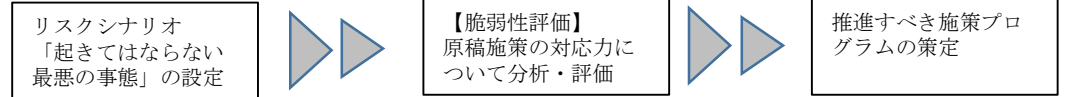
### 上士幌町強靱化の目標

- (1) 大規模自然災害から町民の生命・財産と上士幌町の社会経済システムを守る。
- (2) 上士幌町の強みを活かし、国・北海道全体の強靱化に貢献する。
- (3) 上士幌町の持続的成長を促進する。

## 3 上士幌町強靱化計画策定の進め方

### 大規模自然災害に対する脆弱性を分析・評価

- (1) 脆弱性評価から施策プログラム設定までの流れ



- (2) リスクシナリオ【7つのカテゴリーと18のリスクシナリオ】の設定

(北海道のリスクシナリオ21を参考にしつつ、地域の特性を踏まえてリスクシナリオを設定)

カテゴリー	リスクシナリオ「起きてはならない最悪の事態」	
1 人命保護	1-1 地震等による建築物等の大規模倒壊や火災に伴う死傷者の発生	
	1-2 火山噴火・土砂災害による死傷者の発生	
	1-3 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	
	1-4 暴風雪及び豪雪による交通途絶等に伴う死傷者の発生	
	1-5 積雪寒冷を想定した避難体制等の未整備による被害の拡大	
	1-6 情報伝達の不備・途絶等による死傷者の拡大	
2 救助・救急活動等の迅速な実施	2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	
	2-2 消防、警察、自衛隊等の被災等による救助・救急活動の停滞	
	2-3 被災地における保健・医療・福祉機能等の麻痺	
3 行政機能の確保	3-1 町内外における行政機能の大幅な低下	
	4 ライフラインの確保	4-1 長期的又は広範囲なエネルギー供給の停止
		4-2 食料の安定供給の停滞
		4-3 上下水道等の長期間にわたる機能停止
4-4 町外との基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止		
5 経済活動の機能維持	5-1 中枢機能の麻痺等による企業活動等の停滞	
	6 二次災害の抑制	6-1 農地・森林等の荒廃による被害の拡大
7 迅速な復旧・復興等		7-1 災害廃棄物の処理の停滞等による復旧・復興の大幅な遅れ
		7-2 復旧・復興等を担う人材の絶対的不足や地域コミュニティの崩壊

## 4 施策プログラム及び推進事業

- (1) 脆弱性評価の結果を踏まえて、施策及び推進事業を設定 (ソフト・ハード両面)
- (2) 限られた資源で効率的・効果的な取組みとするため、施策の重点化を図る。

## 5 計画の推進

- (1) 国、北海道、道内市町村と十分な連携を図る。
- (2) 計画の推進期間は、概ね5年間とし計画内容の見直しが必要な場合は適宜見直しを行う。
- (3) P D C Aサイクルによる推進管理及び施策プログラム全体の検証により目標の達成を図る。